

The 44th Kurashiki Orchestra

倉敷管弦楽団

第44回定期演奏会

指揮 高谷 光信



Program

チャイコフスキー：組曲第3番op55

ベートーヴェン：交響曲第3番変ホ長調『英雄』op55

日時

2018. **7.22** [SUN] 14時30分開演(14時開場)

場所

倉敷市民会館

入場料

前売 一般：**1,300**円 (当日1,500円)
前売 学生：**1,000**円 (当日1,200円)

プレイガイドおよび前売券取扱所(4月中旬より販売予定)

駐車場の数には限りがあります。公共交通機関のご利用をお願いいたします。

岡山

岡山シンフォニーホールチケットセンター、
ぎんざや

倉敷

アルスクらしきチケットセンター(倉敷市文化交流会館内)、
インディスク(天満屋倉敷店4F)

玉島

トクナカピアノ

主催：倉敷管弦楽団 共催：倉敷市文化連盟 お問い合わせ：糸島 090-9505-1167

後援：岡山県・倉敷市・RSK山陽放送・OHK岡山放送・KSB瀬戸内海放送・(公財)岡山県郷土文化財団・公益財団法人倉敷市文化振興財団

指揮者：高谷 光信 (たかや みつのぶ)

ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団常任指揮者

京都市立堀川高等学校音楽科（現・京都堀川音楽高等学校）を経て大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業、キエフ国立チャイコフスキー音楽院指揮科首席卒業。また国家演奏家資格、ディプロマを最優秀の成績で取得。指揮を小松一彦、伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、V.プラソロフ、E.ドゥーシェンコ、N.スーカッチ、に師事する。

2003年、キエフ国立チャイコフスキー音楽院卒業時、ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団に客演指揮者として招かれ、ウクライナにてプロデビューを果たす。首席客演指揮者（2003～2006）第2指揮者（2006～2012）常任指揮者（2012.7～）現在も定期演奏会や各国の音楽祭、マスターコースなどで共演を続けている。

同楽団の招致により『ホロヴィッツ国際ピアノマスタークラス』『シベリア国際音楽祭』『ウクライナ国際音楽祭・キエフ夏の音楽の夕べ』またウクライナを代表する国際音楽祭である『バルトケーヴィツ国際音楽祭』などに出演し、「高い音楽性でソリストを支える音楽祭を成功に導いた。」(KievPost)と高く評される。また2010年より『ウクライナ国際マスタークラス指揮・バイオリン・ピアノ部門』の講師・審査員・指揮者を務め、世界中の若きソリストと共演する模様は全国放送されている。

現在までに東京混声合唱団、Osaka Shion Wind Orchestra (旧大阪市音楽団)、大阪交響楽団、兵庫芸術センター管弦楽団、

セントラル愛知交響楽団、名古屋演奏家ソサエティ、テレマン室内オーケストラ、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラ、エウフォニカ管弦楽団、神戸市室内合奏団、ナゴヤディレクターズバンド、プラスパラダイス大阪、キエフ音楽院管弦楽団など、数多くのオーケストラ、吹奏楽団、合唱団を指揮。

ヴァイオリニストのE・ケシャーエバ、豊嶋泰嗣、沼田園子、ピアニストの近藤嘉宏、江口玲、塩見亮、崔理英、池本三太、A・イエーメツ、D・オニシチェンコ、テノール歌手の秋川雅史、田原祥一郎、松本薫平、竹内直紀、小餅谷哲男、バリトン田中勉、ウズベキスタン音楽集団『SHOD』など国内外の著名な演奏家と多数共演。《題名のない音楽会》(Osaka Shion Wind Orchestra 2015年11月23日放送)にTV出演。

歌劇においては「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「ヘンゼルとグレーテル」「ラ・ボエーム」「こうもり」「カルメン」「弁慶・八岐の大蛇・箱入り女房」を指揮。

名古屋芸術大学音楽学部、大阪芸術大学演奏学科、武庫川女子大学音楽学部、京都市立芸術大学音楽学部音楽教育研究会、各非常勤講師。みやこオペラ京都合唱団代表。

第16回京都芸術祭京都市長賞受賞。2012年7月ウクライナチェルニーゴフ州文化功労賞受賞。

オフィシャルホームページ <http://m-takaya.com/>

今年の聴きどころ

クラシック界の大作曲家を二人取り上げるだけでも重みが有る上に、第44回にそれぞれ第3番で作品番号がどちらも55番という、大変珍しい演奏会です。

チャイコフスキー：組曲第3番op55

「組曲…?」と思われるも全く不思議ではありません。国内の演奏記録はなかなか検索出来ず2013年10月NHK交響楽団以外見当たらないほどです。もしかしたら岡山県はおろか西日本でも初演かもしれません。しかしながらこの曲は「白鳥の湖」「悲愴」などの片鱗が見え、美しいメロディの部分とリズムの天才の部分と共存するロシアの香り高い楽曲です。終楽章終曲のポラッカが鳴り響くと、豊かな音に包まれるでしょう。

ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」op55

華やかな1楽章、有名な葬送行進曲など全楽章が素晴らしい名曲。ピアノソナタ第21番「ワルトシュタイン」op53、同第23番「熱情」op57、と同時期で創作意欲旺盛な頃（30歳代）の作品です。当団では金管楽器団員が充実している時期が続き、チューバ、トロンボーンの出番がないこの曲はなかなか定期演奏会での実現に至りませんでした。互いを思い合う団員同士の話し合いから、この度は第9回（昭和58年）以来実に35年ぶりの、満を持しての「英雄」です。熱い気持ちを音に込めてお届けしたいと存じます。

倉敷管弦楽団

「美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年設立され今年で44年。定期演奏会や倉敷音楽祭、依頼演奏（倉敷支援学校、高梁市等多数）などで、ご来場の皆様から満足度の高い評価と温かい拍手を頂いています。

定期演奏会は年1回ですが、外部より指揮者を招聘し研鑽を積んで参りました。昨年の熱演ぶりは「こんなに良いオーケストラだったのか!」というアンケートのお声に反映されています。昨年に引き続き高谷光信氏の棒に全団員がついていきます。どうぞご期待下さい。



倉敷管弦楽団団員募集

定例練習日 毎週月曜日 午後7:00～9:30
練習場所 倉敷市文化交流会館
団員資格 オーケストラ経験者で、練習・演奏会に参加できる人

お問い合わせは info@kurakan.org
<http://kurakan.org/kurakan-blog/>